

U.S. Indicators

米国 前月から減少もモメンタムが改善し底堅さ維持(08年1月耐久財受注)

発表日：2008年2月27日（水）

～1-3月期の機械・ソフトウェア投資も減少は回避される可能性～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

- 1月は耐久財受注が前月比▲5.2%（市場予想同▲4.0%）、輸送機器を除いた耐久財受注が同▲1.6%（市場予想同▲1.4%）と減少に転じた。
- しかし、モメンタムを示す3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では耐久財受注が+3.0%と増加に転じ、輸送機器を除く耐久財受注は▲1.3%とマイナス幅を縮小した。
- 設備投資関連では、機械・ソフトウェア投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）は1月に前月比+0.1%（前月同+1.7%）と減速したが、10～12月期対比年率+5.1%（10～12月期同+5.0%）と金融市場が混乱するなかで前期から小幅加速している。今後鈍化する可能性が高いものの、それでも1～3月期の機械・ソフトウェア投資は前期から拡大を続けると予想される。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は1月に前月比▲1.4%（前月同+5.2%）とマイナスに転じた。しかし、10～12月期対比年率では+8.0%と10～12月の同▲1.6%から大幅なプラスとなった。さらに、非国防資本財受注残（除く航空機）は1月に前月比+0.5%（前月+1.0%）と鈍化したが、10～12月期対比年率では+4.6%（10～12月期は同+2.9%）と加速していることから、経営者マインドが悪化するなか2008年前半の機械・ソフトウェア投資の減少は回避される可能性がでてきた。

耐久財受注 (Advance Report on Durable Goods Manufacturers' Shipments and Orders)

	出荷				受注				在庫			
	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器
06/1Q	+1.1	+2.5	(+8.1)	+2.5	▲1.2	+2.9	(+9.2)	+4.7	+0.9	+2.0	+1.7	
06/2Q	+0.4	+0.8	(+8.5)	+1.1	+1.4	+1.9	(+10.4)	+0.4	+2.5	+2.6	+1.5	
06/3Q	▲0.2	+0.5	(+7.6)	+0.7	+1.9	▲0.1	(+7.7)	+2.5	+2.9	+3.3	+3.2	
06/4Q	▲0.4	▲1.3	(+2.5)	▲0.8	▲1.6	▲1.4	(+3.3)	▲1.5	+1.4	+1.5	+1.8	
07/1Q	▲1.1	▲0.9	(▲0.9)	▲2.9	▲2.5	▲1.6	(▲1.2)	▲4.3	+0.6	+0.1	+0.4	
07/2Q	+2.2	+2.8	(+1.0)	+2.3	+3.6	+2.6	(▲0.6)	+3.1	+0.4	▲0.1	+0.4	
07/3Q	+1.4	+0.1	(+0.7)	+1.5	+2.1	+1.5	(+1.0)	+0.8	+0.3	+0.1	+1.1	
07/4Q	▲1.7	▲0.2	(+1.8)	+1.2	▲1.5	▲0.6	(+1.8)	▲0.4	+2.1	+1.1	+1.6	
07/08	▲1.9	▲0.6	(▲0.2)	+1.9	▲5.3	▲1.8	(+1.3)	+0.1	▲0.1	▲0.2	+0.3	
07/09	▲1.8	▲0.5	(+1.0)	+1.8	▲1.4	+1.0	(+0.9)	+1.4	+0.3	+0.3	+0.3	
07/10	+0.5	+0.6	(+1.5)	▲1.2	▲0.5	▲1.0	(+1.6)	▲3.0	+0.4	+0.4	+0.8	
07/11	▲0.4	▲0.3	(+2.2)	+0.1	+0.5	▲0.5	(+2.2)	▲0.1	+0.7	+0.3	+0.3	
07/12	▲0.4	+0.1	(+1.7)	+1.7	+4.4	+2.0	(+1.5)	+5.2	+1.1	+0.5	+0.5	
08/01	+1.8	+1.5	(+3.5)	+0.1	▲5.3	▲1.6	(+3.1)	▲1.4	+0.6	+0.4	+0.6	

(出所) 商務省

(注) 四半期は前期比、月次は前月比伸び率。()内は季節調整値の前年比。

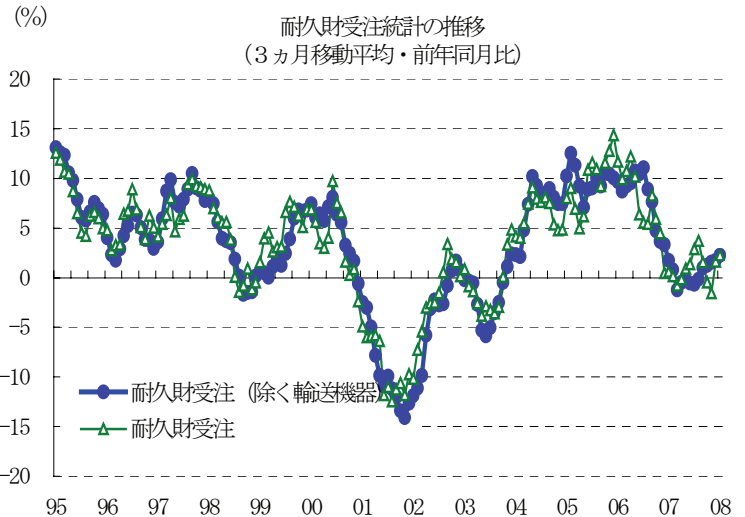
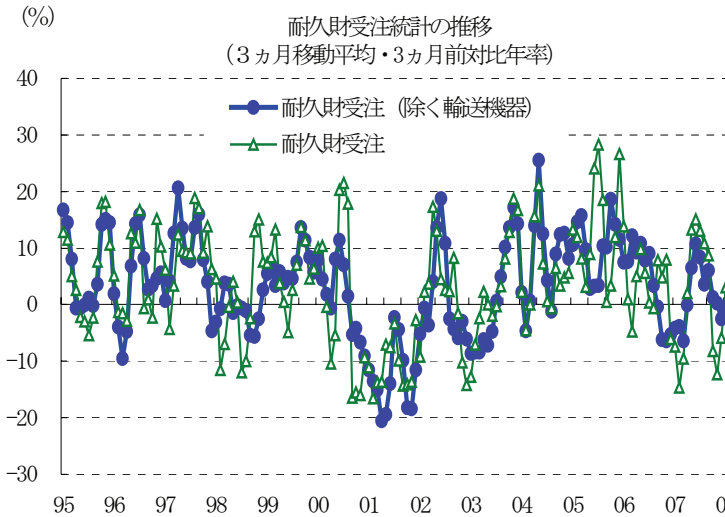
耐久財受注が前月比▲5.3%、輸送機械を除く耐久財受注が同▲1.6%

08年1月の耐久財受注は前月比▲5.3%（前月同+4.4%）と下落幅が市場予想の同▲4.0%を上回った。電気機器・同部品が増加した一方、加工金属、一般機械、コンピューター・電子製品、輸送機械が減少した。しかし、同統計は単月での変動が大きいという3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+3.0%（前月▲5.9%）とプラスに転じている。良

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

好な海外需要を背景に底堅さを維持している。

一方、1月の輸送機器を除いた耐久財受注は前月比▲1.6%と下落幅が市場予想の同▲1.4%を上回った。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では▲0.4%（前月▲2.5%）とマイナス幅を縮小し一段の悪化を回避、前年比でもプラス幅を拡大するなど、底堅く推移している。



高水準の受注残を背景に耐久財生産の拡大が持続すると見込まれる

耐久財在庫が前月比+0.6%と減速した一方、耐久財出荷が同+1.8%と大幅な増加に転じたため、耐久財在庫率は1.496ヵ月（前月1.513ヵ月）と低下した。在庫の水準が低く、さらに耐久財受注残が同+0.6%（前月同+2.5%）と拡大基調にあることから、耐久財生産は底堅さを維持すると予想される。

加工金属、一般機械、コンピューター・電子製品、輸送機械が減少

業種別の受注動向をみると、電気機器・同部品が増加した一方、加工金属、一般機械、コンピューター・電子製品、輸送機械が減少した。

コンピューター・電子製品ではコンピューター・同関連製品が前月比▲11.7%（前月同+5.1%）、通信設備が同▲11.9%（同+13.2%）と大幅な減少となったため全体でも同▲2.7%（同+3.8%）と減少した。他方、輸送機器は同▲13.4%（同+10.2%）と縮小した。自動車・同部品が同▲0.8%（同▲3.3%）と減少幅を縮小したものの、ボーイングの受注減少により非国防航空機・同部品が同▲30.5%（同+9.1%）と減少、国防航空機・同部品が同▲32.6%（同+142.9%）と反動減となった。

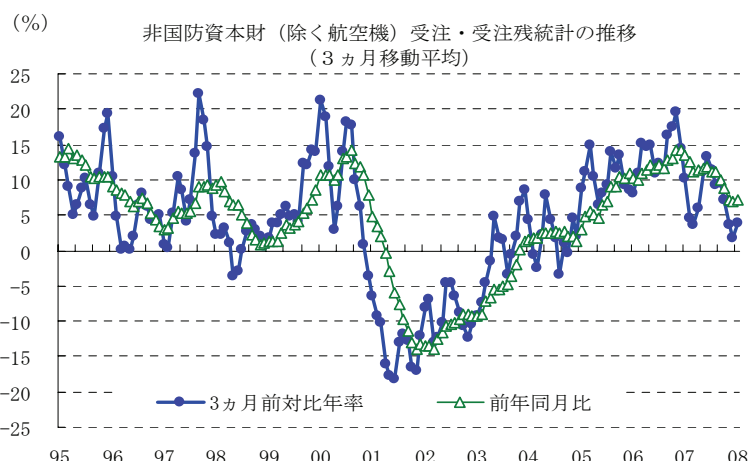
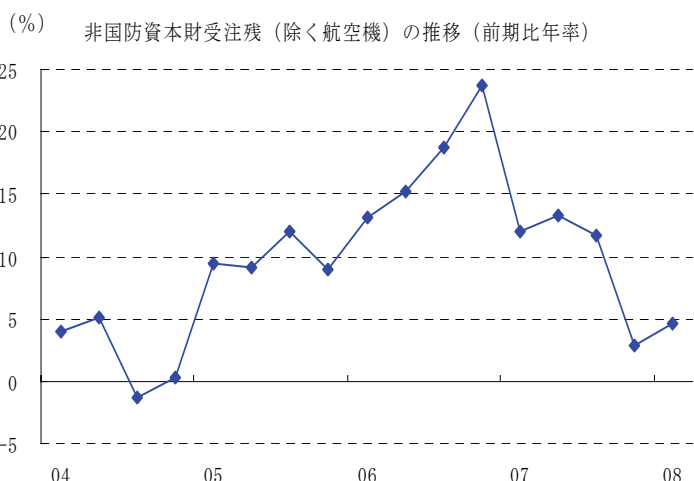
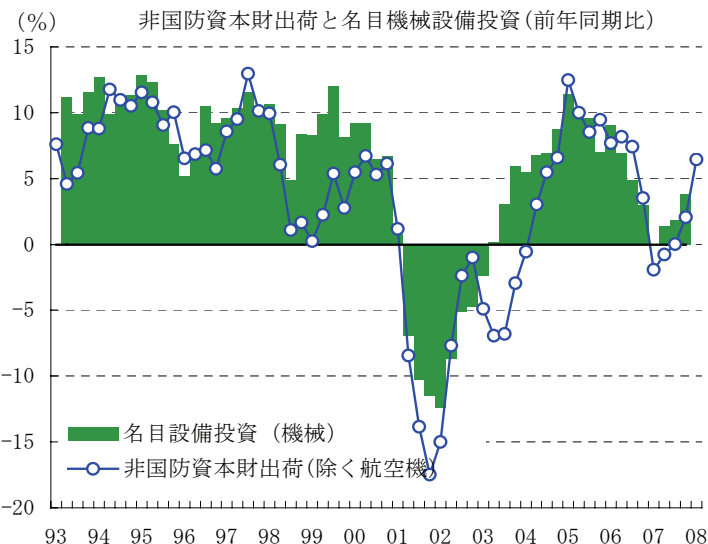
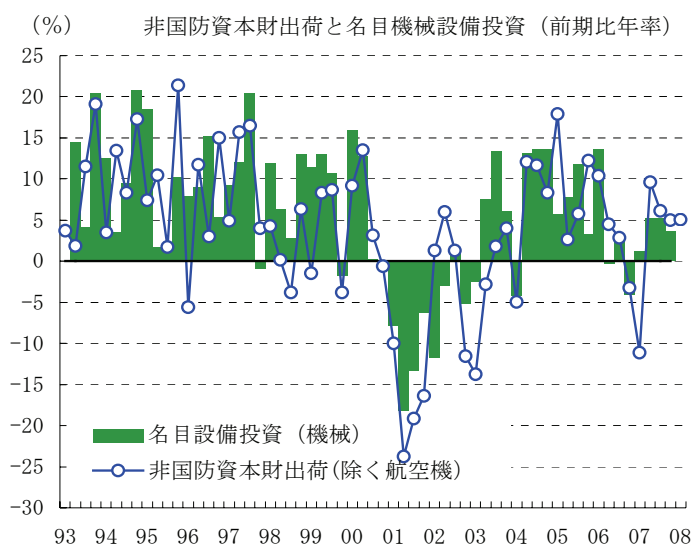
2008年1～3月期の機械・ソフトウェア投資も拡大する可能性

設備投資関連では、機械・ソフトウェア投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）は1月に前月比+0.1%（前月同+1.7%）と減速したが、10～12月期対比年率+5.1%（10～12月期同+5.0%）と金融市場が混乱するなかで前期から小幅加速している。今後鈍化する可能性が高いものの、それでも1～3月期の機械・ソフトウェア投資は前期から拡大を続けると予想される。

機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は1月に前月比▲1.4%（前月同+5.2%）とマイナスに転じた。しかし、10～12月期対比年率で

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

は+8.0%と10~12月の同▲1.6%から大幅なプラスとなった。さらに、非国防資本財受注残（除く航空機）は1月に前月比+0.5%（前月+1.0%）と鈍化したが、10~12月期対比年率では+4.6%（10~12月期は同+2.9%）と加速していることから、経営者マインドが悪化するなか2008年前半の機械・ソフトウェア投資の減少は回避される可能性がでてきた。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。